

# 2026年6月のClaude Fable 5停止に関する分析レポート

## エグゼクティブサマリー

本件でAnthropicが用いている公式表記は「**Claude Fable 5**」です。本レポートでは、2026年6月9日のローンチから、6月12日の停止告知、6月15日時点の継続的な「利用不可」表示までを、Anthropicの公式告知、Help Center、開発者向けドキュメント、ステータスページを中心に整理し、補助的にReuters、AP、Axios、Semafor、The Vergeなどの報道で外部反応と規制波及を確認しました。①

### 主要結論

- 今回の停止は、通常の障害対応やインフラ障害ではなく、**米政府の輸出管理 directive への法令順守対応**として発生した停止です。Anthropicは、外国籍者へのアクセス停止を命じる指示の「実務上の帰結」として、Fable 5 と Mythos 5 を**全顧客向けに停止**したと説明しています。②
- 公式説明上の直接トリガーは、**Fable 5 のサイバー安全策を回避しうる「narrow, non-universal jailbreak」への懸念**です。ただしAnthropicは、その実証は「少数の既知の軽微な脆弱性」の発見にとどまり、他の公開モデルでも同等のことが可能だと反論しています。**バグ起因・インフラ起因の停止であるという一次情報は確認できません**。③
- 影響範囲は広く、**Claudeアプリ群、Claude API / Claude Platform、Amazon Bedrock、Google Cloud系提供面、Microsoft Foundry、Project Glasswing / 研究系アクセス**に及びます。他方でAnthropicは「**他の全モデルは影響を受けない**」と明言しています。2026年6月15日時点でも、公式モデルページ上でFable 5 / Mythos 5は「currently unavailable」と表示されています。④
- 運用面では、Anthropicの公開ドキュメント上、Standard tierはbest-effort、Priority Tierは**99.5% uptime target**とされていますが、**今回のような法令順守停止に対する公開SLA救済や返金ルールは確認できず、未指定**です。また、Fable 5は本来6月22日まで一部サブスクリプションで追加料金なし提供予定でしたが、その計画は開始後まもなく中断されました。⑤
- 代替策として最も現実的なのは**Claude Opus 4.8への退避**です。理由は、Anthropic自身がFable 5の安全分類器ヒット時のフォールバック先としてOpus 4.8を使っており、1Mトークン文脈を維持しつつ、価格はFable 5の半額だからです。コスト重視ならSonnet 4.6、さらに高スループット寄りならHaiku 4.5ですが、文脈長・能力・安全挙動の差により移行負荷は大きくなります。⑥

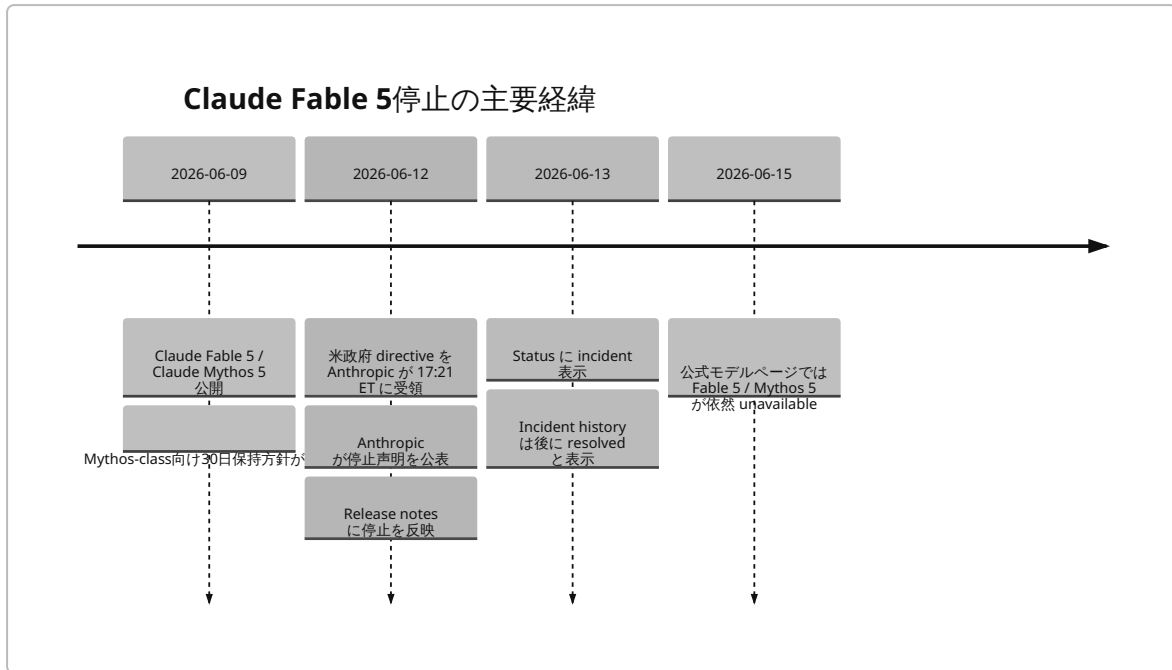
### 主要推奨

- まずは**Fable 5 依存ワークロードを Opus 4.8 に切り替え**、そのうえでSonnet 4.6 / Haiku 4.5を用途別に再配置する二段階移行を推奨します。⑦
- **Bedrock / Vertex AIではサーバーサイド fallbackが非対応**なので、アプリ側で明示的なmulti-model / multi-provider fallbackを実装してください。⑧
- 防御的サイバー用途は、**Opus系 + Cyber Verification Program**を優先的な公認ルートとみなすべきです。ただし**BedrockとVertexではCVP非対応**です。⑨
- ZDR・BAA・地域規制がある組織は、**モデル切替だけでなく retention / subscription / region / audit-log 設計の再構成**まで含めて対応してください。⑩

## 調査方法と事実認定

本調査では、一次情報として Anthropic の公式ニュース、Help Center、API / モデル / 価格 / サービスタイアのドキュメント、Status ページを優先し、そこから確認できない論点だけを Reuters、AP、Axios、Semafor、The Verge などで補いました。特に本件では、**停止日時**が「directive 受領時刻」「停止公表時刻」「status incident 記録時刻」「顧客利用再開時刻」で分かれるため、これらを区別して整理していません。<sup>11</sup>

確認項目	事実認定	根拠
停止の性質	通常障害ではなく、米政府 directive による <b>法令順守停止</b>	Anthropic公式声明は「export control directive」を理由に「abruptly disable」すると明記。 <sup>3</sup>
directive 受領時刻	<b>2026年6月12日 17:21 ET</b>	Anthropic公式声明。 <sup>3</sup>
公開停止の告知日	<b>2026年6月12日</b>	公式声明および Release notes。 <sup>12</sup>
公式ローンチ日	<b>2026年6月9日</b>	Launch blog と Release notes。 <sup>13</sup>
顧客向け再開日時	<b>未指定</b>	Status history は6月13日UTCに incident resolved を示す一方、6月15日時点のモデルページはなお unavailable。顧客再開時刻としては未確認。 <sup>14</sup>
法的根拠の条文・命令文書全文	<b>未指定</b>	公式声明は“national security authorities”と“export control directive”にとどまり、条文・命令文面は未公表。 <sup>3</sup>
具体的な脆弱性識別子	<b>未指定</b>	公式には「既知の軽微な脆弱性」を少数確認したとだけ説明。CVE等はない。 <sup>3</sup>
オンプレ推論提供の有無	<b>未指定</b>	公式に列挙される提供面は API / Claude Platform on AWS / Bedrock / Vertex AI / Microsoft Foundry。オンプレ推論は確認できず。 <sup>15</sup>



このタイムラインは Anthropic の launch blog、statement、Help Center、status / model page の公開表記から再構成したものです。重要なのは、**status 上の“resolved”**と、**顧客が再び使える“restored”**は同義ではないことです。6月15日時点のモデルページがなお unavailable である以上、顧客再開時刻は未指定と扱うのが厳密です。 <sup>16</sup>

## 停止の原因と公式説明

Anthropic の一次情報をそのまま読む限り、今回の停止の主因は **法規制・安全保障起因**であり、ソフトウェア不具合やクラウド障害ではありません。公式声明は、米政府が「国家安全保障当局」を根拠に、**米国内外を問わずすべての外国籍者に対して Fable 5 / Mythos 5 へのアクセス停止を命じた**と説明しています。Anthropic は、その条件では実運用上「全顧客向け停止」にせざるを得ないと述べています。 <sup>2</sup>

Anthropic が理解している政府側懸念は、**Fable 5 のサイバー安全策を回避しうる jailbreak 手法**です。ただし Anthropic は、そのデモは「既知の」「軽微な」脆弱性を少数見つけた程度であり、同社が確認した限りでは、**他の公開モデルでも bypass なしに同程度の発見が可能**だとしています。さらに、政府からは具体的な国家安全保障上の詳細は示されていないとも述べています。 <sup>3</sup>

“narrow, non-universal jailbreak” <sup>3</sup>

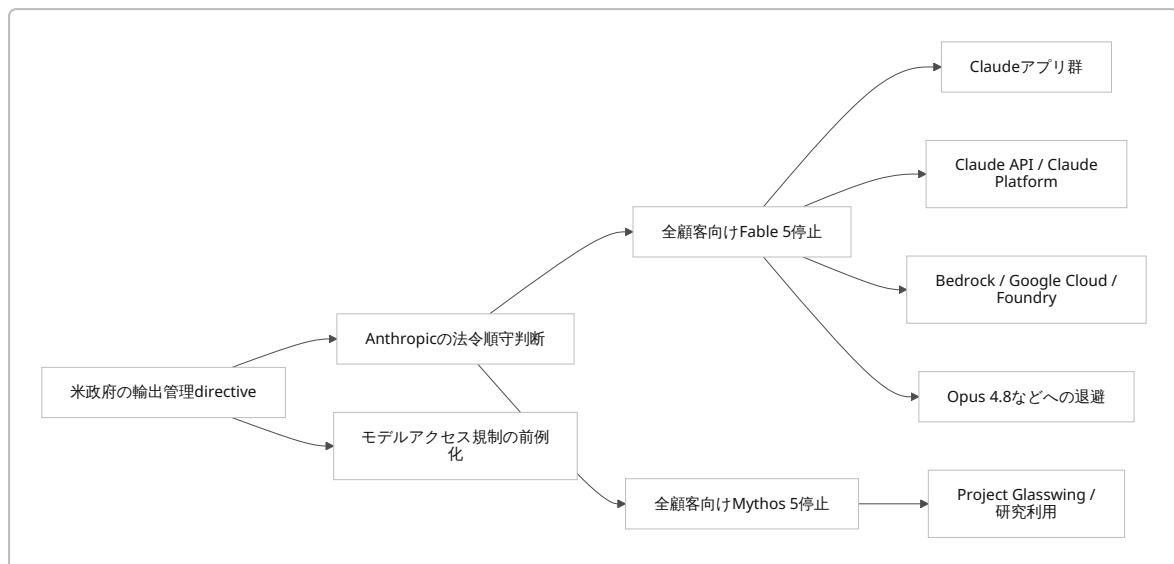
“abruptly disable Fable 5 and Mythos 5 for all our customers” <sup>3</sup>

ここで重要なのは、Anthropic がローンチ時点から **Fable 5 を「Mythos 5 と同じ基盤モデルだが、安全分類器を追加した一般公開版」**として位置づけていたことです。公式ブログによれば、Fable 5 の分類器が **サイバー、biology / chemistry、distillation** に関わる要求を検知した場合、その応答は **Claude Opus 4.8 に自動ハンドオフ**される設計でした。つまり、Anthropic 自身が「完全防御」ではなく **defense in depth とフォールバック運用**を前提に設計していたわけです。 <sup>17</sup>

その defense in depth の一部が、**30日間のデータ保持**です。Anthropic は Mythos-class / Covered Models に対して、単一リクエストでは見えない **Best-of-N jailbreaking や state-sponsored espionage のパターン検知**のため、30日保持が必要だと説明しています。これは ZDR 組織や規制産業にとって明確な運用コストで

すが、Anthropic は「新モデル学習には使わない」「人によるアクセスは重大危害フラグまたは顧客書面依頼時に限定」「全アクセスは改ざん不能ログで管理」「30日後自動削除」としています。<sup>18</sup>

Anthropic はまた、Fable 5 の安全策について、**米政府、UK AISI、第三者組織、社内チームが合計数千時間の red-team を行い、これまでに universal jailbreak は見つかっていないと主張しています。**したがって、Anthropic の公式立場を整理すると、**原因分類は「法規制トリガー付きのセキュリティ懸念」**であり、**バグ停止でもインフラ停止でもない、**ということになります。セキュリティ懸念そのものの重大性については、Anthropic と政府側の評価が対立しています。<sup>3</sup>



このフロー図は、Anthropic の statement、launch blog、Help Center 上の Covered Models / retention / switching の記述から要約したものです。**技術そのものを止めたのではなく、法的制約がサービス面の停止を引き起こした点**が中核です。<sup>19</sup>

## 影響範囲と代替モデル

停止の影響は「APIだけ」ではありません。Anthropic の statement は全顧客停止を明言し、Help Center の Covered Models ページは Fable 5 の提供面として **Claude applications、Claude Platform、Amazon Bedrock、Google Cloud 系、Microsoft Foundry** を列挙しています。加えて、Fable 5 の自動モデル切替に関する公式記事は、Fable 5 が **web / mobile / desktop / Cowork / Claude Code / Claude Design / Microsoft 365 / Teams / Slack** など広い製品面で使われていたことを示しています。<sup>20</sup>

影響範囲	公式確認	実務上の含意
Claudeアプリ群	Fable 5 は Claude applications 上で一般提供、6月12日以降は suspended。 <sup>21</sup>	Web / mobile / desktop / Teams / Slack / Microsoft 365 など、会話UI側の Fable 選択・既存会話継続に影響。 <sup>22</sup>
Claude API / Claude Platform	statement で全顧客停止、Help Center で covered model surface として明記。 <sup>23</sup>	直接API利用、Claude Platform on AWS 経由利用、Priority Tier 契約利用のいずれも Fable 呼び出し不可。 <sup>24</sup>

影響範囲	公式確認	実務上の含意
Amazon Bedrock	AWS は Anthropic の要請で「all users in all regions」へのアクセス撤回を受けたと Reuters が報道。公式 docs でも Fable 5 提供を確認。 <sup>25</sup>	Bedrock 利用企業も停止対象。地域エンドポイントを持っていても、Fable 自体の停止は回避不能。 <sup>25</sup>
Google Cloud 系 / Microsoft Foundry	Covered Models / model docs に提供面として記載。 <sup>26</sup>	Google Cloud / Foundry 経由の商用導入も停止対象。なお Google 側表記は docs により Vertex AI / Agent Platform が混在。 <sup>26</sup>
研究利用	Mythos 5 は Project Glasswing 向け、biology trusted access も計画済みだったが、Mythos 5 も同時停止。 <sup>27</sup>	防御的サイバー研究と、拡大予定だった生命科学 trusted access の両方に実質的ブレーキ。生物研究向け拡張計画も少なくとも不確実化。 <sup>28</sup>
HIPAA / BAA / ZDR	Covered Models は30日保持が必要、BAA 下では主に HIPAA-ready API / chat 経由、Code / Cowork では covered model の経路なし。 <sup>29</sup>	規制産業では、停止以前から retention / workspace / subscription 分離コストが大きかった。停止により、その準備投資の即時回収は困難。 <sup>29</sup>
オンプレ推論	<b>未指定</b> 。確認した一次情報では公式提供面に含まれない。 <sup>15</sup>	少なくとも公開一次情報ベースでは、顧客管理オンプレ推論への直接影響は確認不能。

Anthropic の一次情報だけに限定して代替モデルを比較すると、**最有力は Opus 4.8** です。Fable 5 の公式 fallback 先であり、1Mトークン文脈を維持し、価格は半額です。Sonnet 4.6 はコスト効率、Haiku 4.5 は速度・価格で魅力がありますが、Fable 5 前提の長期エージェント作業をそのまま受け継ぐには差分が大きくなります。<sup>6</sup>

モデル	公式ポジション	主要仕様	価格	Fable 5 からの移行コスト評価
Claude Fable 5	最も高性能な広範公開モデル。ただし6月15日時点 unavailable。 <sup>30</sup>	1M context、128k output、always-on adaptive thinking。 <sup>31</sup>	\$10 / 入力 MTok、\$50 / 出力 MTok。 <sup>32</sup>	基準値
Claude Opus 4.8	最も高性能な Opus-tier。複雑推論・agentic coding 向け。 <sup>33</sup>	1M context、128k output、Priority Tier 対応、ZDR 可。 <sup>34</sup>	\$5 / 入力 MTok、\$25 / 出力 MTok。Fable 比で約50%安。 <sup>35</sup>	<b>中</b> 。文脈長と主要提供面が近く、Anthropic 自身の fallback 先でもあるため最も現実的。 <sup>36</sup>
Claude Sonnet 4.6	速度と知能の最良バランス。 <sup>33</sup>	1M context、64k output、fast。 <sup>15</sup>	\$3 / 入力 MTok、\$15 / 出力 MTok。Fable 比で約70%安。 <sup>35</sup>	<b>中～高</b> 。コスト改善は大きいですが、max output と能力帯が下がるため再評価が必要。 <sup>33</sup>

モデル	公式ポジション	主要仕様	価格	Fable 5 からの移行コスト評価
Claude Haiku 4.5	最速・低コストの near-frontier。 <sup>33</sup>	200k context、64k output、fastest。 <sup>15</sup>	\$1 / 入力 MTok、\$5 / 出力 MTok。Fable 比で約90%安。 <sup>37</sup>	高。長文脈エージェントや最上位推論の置換にはワークフロー再設計が要る。 <sup>33</sup>
Claude Mythos 5	Glasswing 向け限定。現在 unavailable。 <sup>38</sup>	1M context、128k output、招待制。 <sup>15</sup>	\$10 / 入力 MTok、\$50 / 出力 MTok。 <sup>32</sup>	不可。本件で同時停止。

実装上の移行負荷は、**どのクラウド面を使っているか**で変わります。Anthropic 本体 API では refusal / fallback をドキュメント化していますが、**Vertex AI と Bedrock では fallbacks パラメータによるサーバーサイド fallback が非対応**で、クライアント側の retry / route 実装が必要です。したがって、同じ「Opus に切り替える」でも、Bedrock / Vertex 利用企業のほうがアプリ改修コストは高くなります。<sup>39</sup>

また、防衛的サイバー用途については、Anthropic が **Opus 系に対する Cyber Verification Program** を整備しており、CVP 承認組織なら dual-use な防御用途を継続できる可能性があります。ただし **CVP は Bedrock と Vertex では非対応**で、Microsoft Foundry では専用ルート、第一者面では Organization ID ベースの申請が必要です。これは、サイバー系顧客にとって「単なるモデル切替」では足りず、**アクセス面の再編**が必要であることを意味します。<sup>9</sup>

## 反応と法規制上の波及

Anthropic の公式スタンスは一貫して二層構造です。第一に、同社は以前から **強い輸出管理**や政府の介入余地を政策文書で支持してきました。第二に、今回の個別措置については、**透明・公平・明確・技術的事実に基づく statutory process であるべき**で、今回の措置はそれに当てはまらないと反論しています。つまり Anthropic は、「**政府が止める権限**」を否定しているのではなく、「**今回の止め方**」を否定しているのです。<sup>40</sup>

Reuters は、この措置を「**AI そのものへのアクセス制限**」に輸出管理が踏み込んだ主要なエスカレーションとして位置づけています。従来の米輸出規制が半導体・装置・計算資源に集中していたのに対し、今回の件は **モデル利用者の属性に直接かかる規制**です。ここが、今回の停止を単なる個社トラブルではなく、**生成AIの国際提供モデルを変えうる政策転換点**にしているポイントです。<sup>41</sup>

国外の政策・市場関係者もこの点を重く見えています。AP によれば、カナダの Mark Carney 首相はこの件を **米国系AIプロバイダへの過度依存リスクの実例**として取り上げ、G7 で AI が主要論点になると述べました。これは企業のBCP文脈でも同じで、単一の最先端モデルや単一の米国法域に依存する構成が、**政治・規制イベントで一斉に停止**しうることが可視化されたと言えます。<sup>42</sup>

一方で、停止判断の背景に関する外部報道にはまだ不確定要素があります。Semafor は **China-linked group が Mythos にアクセスした疑い**を、Axios は **Anthropic がホワイトハウスとの関係修復のため技術陣を派遣した**ことを、The Verge は **Amazon 側の安全研究が White House 側判断に影響した**との流れを報じています。ただし Anthropic の一次情報では、**中国アクセス懸念も Amazon 関与も確認されておらず**、これらは現時点では **報道ベースの補足情報**と位置づけるのが妥当です。<sup>43</sup>

開発者コミュニティの反応は、停止以前から「**ガードレールが広すぎる**」という不満が目立っていました。Hacker News の公式 launch thread では、safeguards が **“trigger-happy”** だという反応や、CVP ユーザー

が Fable 5 では脆弱性研究にブロックされるといった不満、6月22日までのプラン内提供の短さと usage credits への不満が見られます。これらはもちろん逸話的ですが、**市場側が期待したのは「最強モデルの一般提供」であり、実際に届いたのは「強い制約つきの提供」**だったことを示しています。 44

## 市場影響と推奨アクション

**短期**で最も大きい影響は、Fable 5 を組み込んだ新規プロジェクトや PoC の停止・巻き戻しです。Anthropic はローンチ時に Fable 5 を API と consumption-based Enterprise で全面提供し、Pro / Max / Team / seat-based Enterprise でも 6月22日まで追加費用なしで含める計画でした。しかし実際には 6月12日で停止しており、**広報・販売計画・導入計画がわずか数日で無効化されたこと**になります。これは開発チームにも営業チームにも大きな信用コストであり、導入審査を保守化させる方向に働きます。 45

**中期**では、企業アーキテクチャが「モデル能力」だけでなく **国籍・法域・保持要件・監査要件**を前提に組み直される可能性が高いです。Anthropic の covered model 制度はすでに 30日保持、ZDR 非対応、BAA 経路制約、クラウドごとの retention 設定要件を持っており、今回の停止はそこに **輸出管理による人属性ベースのアクセス統制**が上乘せられることを見せました。今後は、契約・ID 管理・ワークスペース分離・クラウドサブスクリプション分離・監査ログ設計が、モデル選定と一体化していくはずですが。これは一次情報からかなり強く導ける推論です。 46

**長期**では、市場が「一般公開モデル」「trusted-access モデル」「政府・同盟国寄りの管理モデル」「地域・主権モデル」に分岐していく可能性があります。Anthropic 自身がすでに Fable と Mythos を分け、Project Glasswing と biology trusted access を予定していたこと、さらに今回 Carney らが **ソブリンAI / 依存分散**を強調したことを合わせると、最先端モデル市場は **性能競争だけでなく、アクセス統制モデルの競争**に移るとみるのが自然です。これは将来推論ですが、十分にソースで支えられています。 47

### 推奨アクション

- **本番系は Opus 4.8 を第一退避先に固定**してください。Anthropic 公式の fallback 先であり、1M context を維持し、価格も Fable の半額です。短期の可用性・品質・実装負荷のバランスが最も良い選択です。 7
- **Bedrock / Vertex 利用組織は、アプリ側で fallback router を実装**してください。Fable refusal や unavailable 時に Opus 4.8、さらに必要なら Sonnet 4.6 に落とす設計が必要です。これらのクラウド面では server-side fallback が使えません。 39
- **防衛的サイバー用途は Opus + CVP に切り替え**、Bedrock / Vertex 利用の場合は第一者面または Foundry への経路変更も検討してください。CVP の適用可否が利用面で異なるためです。 9
- **ZDR / BAA / regulated workload は、covered model 専用 workspace / subscription / org を分離**してください。Anthropic は必要に応じて別 workspace、別 Azure Subscription、別 sandbox org の設計を前提にしています。 18
- **契約面では vendor exit clause、model substitution clause、nationality / region compliance clause を追加**してください。今回の事例は、停止原因が性能ではなく政治・規制に移ることを示しました。これは推奨的な分析ですが、Reuters と AP の示す規制エスカレーション / 依存リスクと整合します。 48
- **代替面は二層構成が有効**です。高難度・長期エージェントは Opus 4.8、コスト圧縮/高トラフィックは Sonnet 4.6 または Haiku 4.5 に分け、用途別ベンチマークで再配置してください。Anthropic 自身も「実データと評価セットで比較せよ」と案内しています。 49

現時点での厳密な結論は、**Claude Fable 5 の2026年6月停止は、技術障害というより、セキュリティ懸念を口実とした輸出管理 directive への順守停止**であり、市場への本質的なインパクトは「最先端モデルは突然使えなくなる」という可用性ショックよりも、「最先端モデルはいつでも法域・国籍・保持要件によって再分

類されうる」という統治ショックにあります。したがって、企業が今すべきことは、単なるモデル差し替えではなく、AIスタックのガバナンス再設計です。 50

navlist 最近の主要報道 turn16news32,turn17news34,turn17news35,turn16news33,turn16news31

1 15 30 31 33 34 38 <https://docs.anthropic.com/en/docs/about-claude/models>  
<https://docs.anthropic.com/en/docs/about-claude/models>

2 3 11 12 19 20 23 24 50 <https://www.anthropic.com/news/fable-mythos-access>  
<https://www.anthropic.com/news/fable-mythos-access>

4 21 26 <https://support.claude.com/en/articles/15425695-covered-models>  
<https://support.claude.com/en/articles/15425695-covered-models>

5 <https://platform.claude.com/docs/en/api/service-tiers>  
<https://platform.claude.com/docs/en/api/service-tiers>

6 7 13 16 17 27 28 36 45 47 <https://www.anthropic.com/news/claude-fable-5-mythos-5>  
<https://www.anthropic.com/news/claude-fable-5-mythos-5>

8 <https://docs.anthropic.com/en/api/claude-on-vertex-ai>  
<https://docs.anthropic.com/en/api/claude-on-vertex-ai>

9 <https://support.claude.com/en/articles/14604842-real-time-cyber-safeguards-on-claude>  
<https://support.claude.com/en/articles/14604842-real-time-cyber-safeguards-on-claude>

10 18 <https://support.claude.com/en/articles/15425996-data-retention-practices-for-mythos-class-models>  
<https://support.claude.com/en/articles/15425996-data-retention-practices-for-mythos-class-models>

14 <https://status.anthropic.com/history>  
<https://status.anthropic.com/history>

22 <https://support.claude.com/en/articles/15363606-why-claude-switched-models-in-your-conversation-with-fable-5>  
<https://support.claude.com/en/articles/15363606-why-claude-switched-models-in-your-conversation-with-fable-5>

25 41 48 <https://www.reuters.com/technology/us-blocks-foreign-access-anthropics-most-advanced-ai-models-axios-reports-2026-06-13/>  
<https://www.reuters.com/technology/us-blocks-foreign-access-anthropics-most-advanced-ai-models-axios-reports-2026-06-13/>

29 46 <https://support.claude.com/en/articles/15455031-covered-models-under-a-business-associate-agreement-baa>  
<https://support.claude.com/en/articles/15455031-covered-models-under-a-business-associate-agreement-baa>

32 35 37 <https://docs.anthropic.com/en/docs/about-claude/pricing>  
<https://docs.anthropic.com/en/docs/about-claude/pricing>

39 <https://docs.anthropic.com/en/api/handling-stop-reasons>  
<https://docs.anthropic.com/en/api/handling-stop-reasons>

40 <https://www.anthropic.com/news/updating-restrictions-of-sales-to-unsupported-regions>  
<https://www.anthropic.com/news/updating-restrictions-of-sales-to-unsupported-regions>

42 <https://apnews.com/article/cb081633bb4fca6ac97dcdaea0354de7>  
<https://apnews.com/article/cb081633bb4fca6ac97dcdaea0354de7>

43 <https://www.axios.com/2026/06/14/anthropic-white-house-mythos-fable>  
<https://www.axios.com/2026/06/14/anthropic-white-house-mythos-fable>

44 <https://news.ycombinator.com/item?id=48463808>  
<https://news.ycombinator.com/item?id=48463808>

49 <https://platform.claude.com/docs/en/about-claude/models/choosing-a-model>  
<https://platform.claude.com/docs/en/about-claude/models/choosing-a-model>